

平成30年度教員免許状更新講習シラバス

| | | | |
|--------------------------|--|---------------------|---------------|
| 講習の区分 | 【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域 | | |
| 講習の名称 | 【選択】行動面の問題を抱える幼児児童生徒への支援 | | |
| 開設日 | 平成30年12月25日(火) 7/16, 9/17, 12/24 | 講習時間 | 6時間 |
| 主な受講対象者 | 全教員 | 受講人数 | 120人 |
| 講習の形態 | 対面授業 | 会場 | 佐賀大学:教養教育大講義室 |
| 担当講師 | 久野 建夫 | | |
| 講習のねらい・到達目標 | <p><ねらい> 全国調査の結果、行動面の問題を抱える児童生徒は4%を超える。多動、衝動性、感情爆発、愛着障害から、他害、自傷、反抗挑発行動、反社会的行為に至るまで多彩な問題が見られる。自閉スペクトラム症を基盤とするか否か、基盤を問わず持続する行動障害の強度および間歇的爆発の有無はどうか、の2つの視点に基づき、評価と対処を講義する。また、偏食、栄養摂取に関わる問題も取り上げる。</p> <p><到達目標> 1. 自閉スペクトラム症の概念と機序について具体的に説明できる。2. 自閉スペクトラム症を持つ児童生徒の行動について説明できる。3. 多動、衝動性の評価と対処について説明できる。</p> | | |
| 講習内容 | <p>行動面の問題を抱える幼児児童生徒について、(1) 自閉スペクトラム症基盤群への対処、(2) 基盤を問わず、持続する行動障害の強度および間歇的爆発の有無、の2つの視点に基づいて捉え、(1)に対する「自閉症指導の7つ道具」、(2)に対する「行動障害の3+1水準対処」方策を紹介する。学習指導要領、特に自立活動をふまえ、関係機関との連携を含めて述べる。対面授業。映像資料有。食事摂取の問題も触れる。</p> | | |
| 評価方法・基準 | <p>成績評価は、試験の成績や講習への出席状況から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。</p> | | |
| | 認定試験 に関して | 資料の持ち込み (可) | |
| 講習計画/講習内容 | | | |
| 開始時刻等 | 担当講師 | 内容 | 補足 |
| I 9:00~10:30 (90分) | 久野 建夫 | 行動障害の3+1水準対処 | |
| II 10:45~12:15 (90分) | 久野 建夫 | 自閉スペクトラム症を持つ児童生徒の行動 | |
| 12:15~13:15 | 昼休み | | |
| III 13:15~14:45 (90分) | 久野 建夫 | 自閉症指導の7つ道具 | |
| IV 15:00~16:30 (90分) | 久野 建夫 | まとめ、筆記試験 | |
| 持参するもの | 特になし | | |
| 予習について | 特になし | | |
| 受講上の注意 | <p>特別な配慮を要する受講者はあらかじめ申し出ること。 基本概念の説明スライド、映像資料の一部は「学習面の問題を抱える知的能力正常な児童生徒への支援」と重複します。 H29年度の講習「【選択】行動面の問題を抱える児童生徒への支援」と内容が重複します。</p> | | |